

EXPRESS 自立帰還型無人宇宙実験システム

EXPeriment RE-entry Space System

結果

EXPRESS は打ち上げられたものの M-3SII 第 2 段ロケットの姿勢異常により、軌道投入を達成することはできませんでした。ガーナ（アフリカ）の新聞が伝えた落下物の記事に基づいたイギリス人衛星情報収集家 Mr. Geoferry Perry の推定により、ガーナで回収保管されていることが判り、96年1月現物が確認され、同3月 DASA-RI(ブレーメン)に移送されました。

回収されたカプセルの耐熱性能や搭載機器の健全性や飛行結果についての詳細な調査が日独の共同作業として実施され、貴重なデータを得ることが出来ました。さらに、国際協力の下でのプロジェクト推進など、USEFにとって以降のプロジェクト運営にとっての糧を得たプロジェクトであったと言えます。



ガーナで回収された時の映像

資料:SES-TD-97-006 EXPRESS カプセル飛行後調査報告書 (1997年6月 ISAS,NEDO,USEF)